

2段階 履修番号 (7) 例題とポイント

<人間の能力と運転>

<練習問題>

- ① 反応時間は反射時間・踏み替え時間・踏み込み時間の3段階に分けることができ、だいたい1秒くらいの時間がかかる。 (ヒント 下記1-②参照) 安知 P20
- ② 静止視力は、動体視力に比べて低くなる。 (ヒント 下記1-③参照) 安知 P21
- ③ 車の速度が速くなれば視力が低下し、近くのものが見えやすくなる。 (ヒント 下記1-⑤参照) 安知 P22
- ④ 明るいところから急に暗いところに入ると視力が低下するが、暗いところから明るいところに出るときは関係ないのでスピードを落とす必要はない。 (ヒント 下記1-⑥参照) 安知 P23
- ⑤ 正面から見たとき大きな物より小さな物、明るいライトより暗いライトの方が遠くに見える。 (ヒント 下記1-⑨参照) 安知 P24

1. 認知・判断・操作 教本P19~P24

① 認知・判断・操作

交通事故の原因の60%が認知ミスによるものです！

(判断ミスは30%、操作ミスは10%なのでほとんどが**見落としによる事故**になります。)

- ② 反応時間・・・運転者が危険な状態を見てから、ブレーキをかけブレーキがきき始めるまでには、**1秒**ぐらいかかります。

反応時間＝反射時間＋踏み替え時間＋踏み込み時間

③ 視力の働き

- ・ 静止視力・・・静止したまま静止した物を見る時の視力
- ・ 動体視力・・・動きながら(運転しながら)物を見る場合や動いている物を見る場合の視力。

空走時間(空走距離)

動体視力<静止視力



しっかり見えていないと事故につながる事から免許を取得するときは両目で0.7以上の静止視力が求められます。静止視力より劣るのが動体視力です。速度が速くなるにつれて動体視力は低下します。死亡事故のNo1の原因は速度の出し過ぎです。気を付けてください！

④ 視野

- ・ 目の位置を変えずに見渡せる範囲のことで、静止時の場合、片目で左右それぞれ160度くらい、両目で200度くらいです。
- ・ 色彩を完全に確認できるのは左右35度付近までです。目だけをキョロキョロ動かして見るのではなく確認する方向に顔をむけて安全確認する。そして、一点だけに集中せず視野を広く 広く心がけること！！

⑤ 視野と速度の関係

重要

- ・ 車の速度が速くなると運転者の視野は狭くなり遠くを注視するので、近くは見えにくくなるトンネル視野になります。速度を出し過ぎると近くからの飛び出しや歩行者、自転車を見落としやすくなるので、十分に注意しましょう。

⑥ 順応

重要

- ・ 人の目は、明るさや暗さに慣れるまでには時間がかかり、明るさに慣れるまで時間がかかるのを明順応、暗さに慣れるまで時間がかかるのを暗順応といい、明順応より暗順応の方が見えるようになるまで時間がかかります。

ポイント



トンネルの出入口は、視力が低下するので速度をおとしましょう！
トンネルの入り口の方が事故が多いので**要注意**。(特に追突事故)

⑦ 離と速度の判断

- ・ 人間の判断力は必ずしも正確ではないので、カンに頼らず、速度計を見て確認する習慣をつけましょう。

⑧ 高速道路

- ・ 狭い道や、距離の短い道路は怖いと感じるのに対し、高速道路はまっすぐで、道幅も広く走りやすいので、ついつい速度を出し過ぎてしまいます。時々、速度計で確認しましょう。

⑨ 車の大きさ

- ・ 同じ距離でも、大きい車は近くに、小さい車は遠くに感じます。右折の時、対向車線の二輪車に対しては「まだまだ距離も遠いから大丈夫！！」と、つい、判断を誤ってしまう事が事故の大きな原因となります。無理な右折はしないように充分、気を配って運転してください。

ポイント



人間の目は幅(横の長さや、縦の長さ)に対しては強いのですが、奥行き(遠近感)に対しては、非常に弱くなります。
車の運転者では、皆さんにとっても最も苦手な遠近感や距離感を考えて運転していかなければなりません。
路上では、その事をしっかりと意識して、強引な運転はくれぐれもしないように、常に安全運転を心がけて下さい。

2. 認知・判断・操作に影響を及ぼす要因

① 飲酒

- ・ 飲酒が及ぼす影響……自信過剰、スピードを出しすぎる、注視範囲が狭くなる
遠近感が鈍る。

重要

- ・ **少しでもお酒を飲んだときは、絶対に運転してはいけません。運転する予定のある人にお酒を勧めたり、飲ませてはいけません。** **運転しなくても大きな罪になります。**

② 疲労や過労

重要

- ・ 疲労の影響は目に強く現れる。(視力が低下、居眠り運転)
- ・ 過労運転を避ける方法……**2時間に1回は、休憩をとる**。眠気を感じたら、運転をやめて仮眠をとったり、軽い運動をするなどする。

ポイント



花粉症などの薬には、眠気を誘う成分が含まれている事があります。運転する時は、薬をむやみに飲まないように、気をつけて下さい。